



「生鮮食料品の流通拠点」

今回は、上長都にある千歳市公設地方卸売市場内の丸一苫小牧中央青果(株)様を取材させていただきました。

公設卸売市場とは、千歳市が開設し私たちの食生活に欠かすことが出来ない生鮮食料品やその他加工品を集荷し、公認セリ人によりセリ売り又は相対売りで登録買受人に販売する流通拠点施設です。千歳市の市場は、昭和48年に開設し、丸一苫小牧中央青果(株)さんは昭和53年8月から営業をされています。次長の稲尾さんに無理をいって朝07:30からのセリ売りを見学させていただきました取材もさせていただきました。

Q: 青果さんの主な取り扱い商品はどんなものですか

A: 主に野菜・くだもの・漬物(一次加工品)・花卉等を登録買取人に販売しています。

Q: 野菜がたくさん取れる時期になりましたが6月の旬な野菜は何ですか。

A: アスパラ・トマト・レタス・キュウリが特に入荷量が増えてきます。

Q: 千歳の公設卸売市場の特徴を教えてください。

- A: ①生産地が近いので新鮮な生産物を最短で消費者に提供できます。
- ②千歳空港が近いのでその流通網を生かし全国の生産物を調達できます。
- ③さらに苫小牧港からも30km程の距離にありフェリー便でのトラック輸送でも優位な位置にあります。

色々質問させていただきありがとうございました。千歳の生鮮食料品の流通拠点・交通の利便性を生かして益々市場を活性化させていってください。

追伸: 今年も秋に「千歳市場感謝祭」を開催予定だそうです。

私も私の母も2年連続で楽しく参加させていただきましたので今年も楽しみにしています。

◀ オフィスシステム課 : 田中 ▶



千歳市公設地方卸売市場 外観



野菜のセリ売りの様子



稲尾次長様

「夏休みの自由研究にいかがですか？」

今回は千歳職業技術専門校様のこれから行われるイベントについて紹介させていただきます。

毎年、7月・8月の夏休みの時期に千歳職業技術専門校様主催の親子工作教室が行われております。内容は、大工職人が作成した設計図に基づいて、のこぎりやかなづち、釘を使用し親子で組立を行い、塗装も同時に行い、完成という工程となります。

今年の日程は7月30日(土)となっております。

参加費は子供1名¥1,500

※先着15組となりますので、お早めにお申し込みください

講師の方から伺った話によると今年皆様に作成していただくものは、花を置くイスとDVDラックとのことです。(塗装の色は数種類ございます)塗装を行いますので、汚れてもいい恰好でお越しください。



DVDラック



プランター用イス



千歳職業技術専門校

【住所】千歳市真々地2丁目4番地8

【Tel】0123-22-2969 【担当者】水坂 様



昨年の作業風景

毎年、個人的に参加させていただいておりますが、募集人数を大幅に超える大盛況で、年々素晴らしいものを作ることができ、家庭でも重宝しております。ぜひご参加下さい。

◀ エコ・ニュービジネス課 : 高島(卓) ▶

千歳市技能士会主催
夏休み親子工作教室

日時: 平成28年7月30日(土)
午前10時~午後3時まで[昼食持参]

対象: 小学生とその保護者
(概ね小学3年生~6年生まで)

場所: 千歳職業技術専門校

参加料: 子供1人につき1,500円

定員: 先着15組まで

申込期間: 7月11日(月)~7月29日(金)
(時間帯は午前9時~午後5時00分)

申込方法: 電話連絡のうえ来校し、参加料とあわせて申込書に記入願います。(申込は保護者の方)

もちもの: お弁当、軍手、作業可能な服装および上靴

申込先: 千歳市技能士会(千歳職業技術専門校内)
電話: 0123-22-2969
住所: 千歳市真々地2丁目4番地8

『みんながんばってね！』

5/21(土) 森林再生ボランティアの森林づくり事業に参加してきました。

この事業は平成16年台風18号による支笏湖周辺の森林被害復旧の事業でリコージャパン様とKDDI様、コカ・コーラ様が共同で行なっており今年で10年を迎えます。

弊社では昨年よりボランティアとして参加をさせていただいており、今年度の初回は、総勢47名で植樹及び前回まで植樹したものに肥料をあげる作業をしました。

植樹した
小さな苗木



10年間植えてきた苗木ですが、森の動物に食べられたり栄養不足で育たなかったりするものもあります。植樹指導をされていた雪印種苗様によると、元気よく育つ秘訣は苗木を植える際に「頑張ってね！」と声をかけてあげることだそうです。

苗木に声をかけながら、今度周りの人たちにも頑張ってね！と声かけてみようと思いました。

《 サポート課 : 兼澤 》

『ニューフェイスです！』

当社は、千歳科学技術大学さんの本部棟と研究・実験棟の2カ所にて売店を運営しています。



飲料水・お弁当・パン・お菓子・日用雑貨・書籍類から実験で使用する白衣・関数電卓・電子辞書などの授業で使う商品も取り扱っています。私も、教科書やテキストの販売期間など売店が混み合う時期などは『本社から送り込まれた(笑)売店のおばちゃん』として時々お店に立つことがあります。普段は3名のスタッフが対応しています。

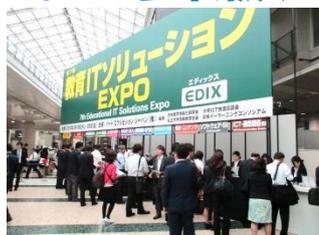
商品の販売だけではなく、時には学生さん達のお母さん的な存在で、悩み相談などをする事もあるという頼れる売店スタッフ達です。この度新たに、中澤 が加わりました。学生さん達のお母さん というにはかなり若い！ので、学生さん達のお姉さん 的な感じでしょうか(笑)

今はまだ入ったばかりで、色々な仕事を覚えている所だそうですが、私達の新しい仲間です！どうぞ宜しくお願いします！

《 エコ・ニュービジネス課 : 瀧石 》



『まさに日本最大でした！！』



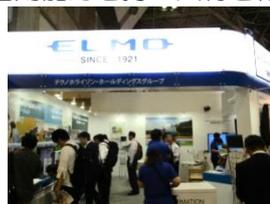
5月18日～20日に東京ビックサイトで開催された「第7回教育ICTソリューションEXPO」(通称EDIX:エディックス)に行ってきました。このイベントは、教育分野日本最大の専門展でICT導入、検討のための展示会です。

来場者は大学、教育委員会、小・中・高校の先生だけではなく、塾、予備校、専門学校、企業の人事・研修担当者など様々な方々が全国から来場します。出展社も学校業務支援、教材コンテンツ、eラーニング、ICT機器、セキュリティ、災害対策、特別支援教育に関する製品、ソリューションを扱う企業が約680社参加しており、まさに「日本最大」規模でした。

個人的には、今後のトレンドや、新商品、活用方法などを勉強できればと思い、会場を5時間程さまよってききましたが、人々の熱気に押され、あっという間に時間が過ぎてしまいました。文部科学省は、プログラム教育の必修化を2020年からの新学習指導要領に盛り込むことを検討しているようですが、これは人工知能(AI)などを活用して生産性を高める「第4次産業革命」に向け、情報活用能力を持つ人材を育成する狙いがあるようです。

私達に求められているのは「時流に乗り遅れないよう努力すること」ではなく「先頭に立ち提案すること」だということを肝に銘じ勉強していきたいと思います。

《 オフィスシステム課 : 国府田 》



今年も カミノ は 6月1日より
クールビズ を 実施します

発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)